

ゲーム機編

2014年版

加古川市少年愛護センター通信

加古川市教育委員会 青少年育成課 少年愛護センター

TEL (079) 423-3848

ゲームは安全？危険？

子どもだけでなく、大人も楽しめるゲームソフトやゲーム機はありとあらゆる形に進化して、携帯できるゲームも広まってきました。ゲームの危険性は、やめられなくなるという依存性があります。あなたはゲームに潜んでいる本当の危険性をご存じでしょうか？ インターネットで世界中とつながったゲームは、インターネットによる犯罪の温床となる危険性をはらんでいます。安全だと思っていたら実は自分の情報がすべて盗まれていたなどということにならないよう、注意する必要があります。

アミーバピグって？

アバターと呼ばれる、自分の身代りのようなキャラクターを作成し、このキャラクターがネット上の仮想の場所で、見ず知らずの人とチャットするサイトです。それ自体は問題ではありません。しかし、インターネット上ということは世界中の誰でも、匿名で参加できるわけで、どんな人が自分の知り合いのように近づいてきて、会話をするかわかりません。自分のプロフィールを公開していると、いつの間にか自分の写真や情報がネット上に出回っているということもあります。また、子ども同士で悪口を言い合うこともしばしば起きています。アミーバピグにかかわらずネット上のキャラクター（人物）はネット上だけの付き合いとし、決して会ってはいけません。ネット上の人物をゲームだから大丈夫と思わず、こんな危険性があることを知っておく必要があります。



単なるゲーム機？

携帯型ゲーム機のPSPや3DSなどは単なるゲーム機ではなく、れっきとした、インターネット端末です。

携帯電話は18歳未満に関しては、有害サイトアクセス制限サービス（フィルタリング）を原則義務化していますが、ゲーム機やiPod touchなどの音楽端末にはこの規制がかかっていません。

つまり、携帯電話を持っていなくても、ゲーム機でメールをしたり、有害なサイトを見たりできてしま

います。これらの機器にはWi-Fi機能がついており、無線LANに接続できるのです。自宅が無線LANの場合はこれを利用することができ、公衆の無線LANがある場所でも当然利用することができます。子どもたちが集まってゲームをしていると思ったら、実はその近くの無線LANに勝手につないでいたなどということも起こっています。子どもたちの方が、これらのICT機器の扱いになれていますので、安心と思わず一度確認してみる必要があります。

